

放射能の「食品基準値 100 Bq/kg 緩和」反対の団体署名取り組み要請

生協、各種団体の皆様へ

東京電力福島第一原発事故から今年で丸 10 年となり、オリンピックを盾に事故による放射能汚染をなかったことにする動きがあからさまになっています。2021 年 1 月 21 日、自民党は山の恵みである山菜・キノコが出荷できないことが復興の妨げになっているとし、衆議院議員・根本匠氏（元復興大臣）（福島 2 区）を座長にして、復興加速化本部に食品の規制基準値緩和のための「プロジェクトチーム」（PT）を発足させました。

私たち「みんなのデータサイト」は原発事故後、日本で最大の市民放射能測定ネットワークとして土壌や食品などの測定、データの公開・分析、わかりやすい情報の提供を行い、署名などの直接的な運動とは一線を画してきました。これは測定データの中立性を守るための団体としてのスタンスでした。しかし、今回の食品基準値の大幅緩和（1,000～10,000 Bq/kg）の提言は、放射能による内部被ばく防護の観点から看過できるものではなく、2 月より反対のオンライン署名活動を開始、この度、個人署名および団体署名を呼びかけるものです。

PT の提言には、以下の文言があります。

【提言 10】

(4) 民間等の自主管理基準の考え方について

民間等が国よりも厳しい自主基準を設定・適用している場合がある。（中略）これらにおいては、国の基準を満たしてはいるが自主基準を満たしていないために出荷できないものが生じ得る。

【提言 11】

民間等の自主基準の実態を把握の上、丁寧に情報の提供や説明に努め、国の基準の検証後への対策に準じた対応の促進等を図るべきである。

これは暗に、全国各地の生協等が独自に定めているより厳格な管理基準を、国の管理において廃止指導を行なうことを示しています。生協等の独自性を許さず、内部被ばくのリスクを事前に排除する権利を奪うものです。

今後、山菜・キノコ・ジビエなどにこの提言が適用されれば、特にキノコは EU のマイナーフードと同じ扱いとみなされ、基準値を 12,500 Bq/kg まで引き上げられる恐れがあります。

生協の生協たる所以・消費者の安全を守る活動に逆行する、プロジェクトチームのこの無謀な提言を撤回させるため、団体署名へのお取り組みを是非ご検討くださいますようお願い致します。



市民放射能測定データサイト
みんなのデータサイト

〒960-0201

福島県福島市飯坂町字一本松 11-7

認定 NPO 法人ふくしま 30 年プロジェクト内

11 時～19 時 水曜定休

TEL：024-573-5697

MAIL：minnanods@gmail.com